



今月の題字
ふくし あゆみちゃん
(織笠小2年)

町のわだい

猫友会が平安荘を慰問 懐かしいキジ汁の味楽しむ

3月2日、山田猫友会(佐々木実行会長・会員数46人)では、船越の特別養護老人ホーム平安荘(井上義一理事長)を慰問。手作りのキジ汁を入所者に振る舞いました。この日は、会員が猟期に捕獲し冷凍保存しておいたキジとヤマドリ13羽を用意。同施設で会員自ら腕を振るい、野菜などと煮込んだキジ汁を作りました。入所者の皆さんは、めったに食べることのできないキジ汁に「とてもおいしい」と何度も舌鼓を打つなど、懐かしい味わいに満足そうでした。



雪の中、倒木撤去作業に協力 贈 鈴木一聖さんに感謝状

田老駅から宮古方面に1km進んだ地点の線路をふさいだ倒木の撤去作業に協力した鈴木一聖さん(山田・18歳)に、三陸鉄道株式会社から感謝状が贈られました。2月21日午後5時20分ごろ、線路上をふさいでいた倒木を列車が巻き込み進行不能。乗車していた当時宮古北高校3年生の鈴木さんは、雪の車外に出て運転士と撤去作業を行ったものです。贈呈式は先月12日に同校で行われ、三陸鉄道の竹澤久嗣代表取締役社長から鈴木さんに感謝状が手渡されました。

山茶花会から温かい善意 還暦にちなみ40万円を寄付

昭和33年度の山田中学校卒業生でつくる山茶花会(福士政人会長・会員数180人)が、還暦にちなみ町に40万円を寄付しました。会員の慶弔用として毎年積み立てていた中から贈ったもので、3月19日に代表5人が役場を訪問。福士会長が沼崎喜一町長に寄付金を手渡しました。同会は42歳の厄年の時に、山田南、北の両小学校に「山茶花文庫」を寄贈。今回も両校の同文庫に寄付金のうちから各10万円が贈られ、後の20万円は町の福祉向上のために使われます。



環境大臣就任

祝賀会であいさつを述べる鈴木俊一環境大臣



鈴木俊一 環境大臣 就任祝賀会に258人 本町2人目の大臣誕生を祝う

鈴木俊一環境大臣就任祝賀会(同実行委員会主催)が3月16日、駅前びはんで開かれました。昨年9月30日に行われた内閣改造で、環境大臣に就任した鈴木俊一氏。入閣以来、初の来町となりました。祝賀会には、町民や宮古・下閉伊管内の市町村長、県議会議員、町関係者など258人が出席し、大臣就任を祝いました。主催者を代表し、実行委員長の沼崎喜一町長が「閣内2番目の若さということで、大臣への期待感がうかがわれます。環境問題は内閣の大きな課題の一つ。激務ではありますが、健康に留意されご活躍いただきたい」と激励。鈴木環境大臣は「環境は人類の生存基盤にかかわる問題ですが、今後、

大臣は各テーブルを回り、出席した皆さんと懇親を深めました



出席者からのサインの要望にも、気軽に応じる大臣



時代と共に重要になってくる分野です。岩手県の産業廃棄物の不法投棄問題などがありますが、環境行政をつかさどる国務大臣として課題解決に努力していきたい」とあいさつしました。その後、佐々木良一町議会議長の音頭で乾杯。鈴木大臣は出席した皆さんと談笑し懇親を深めるなど、会場は和やかな雰囲気になっていました。

大沢地区 鳥居熊藏さんが100歳に 長寿祝福に満面の笑み

大沢地区の鳥居熊藏さん(明治36年生まれ)が、3月6日に100歳の誕生日を迎えました。同日、沼崎喜一町長が自宅を訪問し、長寿を祝福。「満100歳おめでとうございます。これからも元気で長生きをしてくださいね」とあいさつし、長寿祝い金を手渡しました。鳥居さんは、81歳まで町有林の巡視員を務めていたこともあって足腰は丈夫そのもの。自宅でもかくしゃくとした様子で、家族や集まった親せきらの多くの祝福に、しきりに満面の笑顔で応えていました。

